

## 優秀賞

### 青い星を守る水循環

地球は、人間が調査した中で唯一、水のある惑星だ。地球の表面積の約三分の二は水で覆われている。「地球は青かった」という名言は、誰もが一度は聞いたことがあるのではないだろうか。

そんな地球には多種多様な生物が暮らしている。それらは地球の恵みである水によって生きている。植物も動物も、水を飲んで生きているのだ。水が生物の命を生かしている。

私たち人間も、水によって生かされている。それは胎児の時からだ。人間は胎児の時、母体の腹の中で羊水に浮かんでいる。これは様々な衝撃から胎児を守る働きがあるためであり、とても重要なものだ。また、人間の身体の約六〇パーセント、血液と脳の内八〇パーセントが水で構成されている。さらに普段から水を摂取し、不要物と共に排出している。

福島県立会津学鳳中学校 二年

平塚 ひらつか

燈真 とうま

このようなことから、人間が水によって生かされているということはよく分かるのではないだろうか。そんな地球の恵みである「水」だが、実は地球上には常に同じ量の水しか存在していない。海水や地表の水が蒸発し、上空で雲となり、やがて雨や雪となって地表に降り、それが地中や陸地を流れて川へ集まり海に至るといふように、絶えず循環しているのだ。生物は、この見事な繰り返しの中で、水と共に生きている。

しかし今、その地球上の素晴らしい水循環が崩れつつある。それは、私たち人間の手によって水循環が途中で遮られているのだ。例えば森林伐採。一見して水循環と関係性は無いように思える。しかし、森林の持つ多面的な機能には、洪水や渇水の緩和・水質の保全等があり、森林が伐採されることでこれ

らの機能が失われると、洪水や土砂災害が発生しやすくなるのだ。

また、工場や自動車等からの排気ガスが大気中で雨に溶け込むと酸性雨が発生する。この影響で水質が悪くなり、森林や農作物を枯らしたり、水生生物のすみかや命を奪ってしまう。

さらには、地球温暖化も水循環に悪影響を及ぼしている。水辺の地域では、水の蒸発が盛んになり温度が高くなる。温度が上昇することで雨が降りやすくなるため、降水量が大幅に増え、洪水や土砂災害が発生しやすくなる。一方、水の少ない地域では、大気の温度上昇により蒸発が盛んになる。そのため、深刻な水不足に陥ってしまう。

いずれかの場合でも、地球上の水循環に悪影響を与えてしまつては、健全な水循環が行われているとはいえないだろう。

今、このようなことが原因となり、水循環が崩れてきているのだ。人間の行いのせいで何億年も続いできた素晴らしい水循環をこれ以上崩してはならない。そのために、これからの日常生活の中で、水循

環への影響について考えながら行動する必要がある。例えば、森林の伐採は必要最低限にし、土砂災害等のリスクを軽減させる。排気ガスの発生を抑制するために、できるだけ自家用車での外出を控え、徒歩や公共機関での移動を行う。節電を心がけ、二酸化炭素の排出量を最小限に抑え、地球温暖化に歯止めをかける。他にも日常の中でできる対策が多くあると思う。

しかし、これらの対策は一部の人間のみが行うのでは、極めて効果は薄いだろう。日本人のみならず、世界の一人一人が率先して継続的に行うことがとても重要だ。人類が地球上に誕生し、様々な歴史と共に人間の生活はとても便利で豊かになった。その裏で、何億年も続いてきた水循環を崩し、多種多様な生物の命である水を奪ってしまった。水循環を守ることが、宇宙で唯一の水惑星「地球」を守ることに繋がっていくのではないだろうか。